

# 「こおりやまの米」通信

平成30年8月1日

編集:郡山市

JA福島さくら郡山地区本部 (Tel. 921-0533)

NOSAI福島郡山田村支所 (Tel. 933-3307)

県中農林事務所農業振興普及部 (Tel. 935-1310)

発行:郡山市農作物生産対策協議会

(郡山市園芸畜産振興課 Tel.924-3761)



郡山市  
イメージキャラクター  
「かくとくん」

## Vol. 6 生育状況・熱中症対策

こおりやまの米通信

検索

### 1 生育状況

郡山市・JA福島さくら・県で設置している作況ほ場および肥料・農薬展示ほ場の生育(各品種ごとの平均)は、表のとおりです。

全般的に出穂期が平年より5~7日早まる見込みであり、すでに出穂している品種もあります。コシヒカリでは、下位節間が伸びているものがあり、倒伏の懸念があります。

#### 7月24日 生育調査結果

品 種 (調査数)	年 次	葉 齢	幼穂長(cm)	カーブールによる 葉色値	SPAD 値
コシヒカリ (9か所)	本年	11.5	2.7	4.3	32.0
	平年差	+0.9	+0.7	+1.4	+0.9
ひとめぼれ (3か所)	本年	11.0	出穂始め~1.8	3.5	30.8
	平年差	+0.9	-	+0.5	-1.4
天のつぶ (2か所)	本年	11.5	18.5	5.0	36.5
	準平年差	+1.1	+6.0	+0.8	+1.4
あきたこまち (2か所)	本年	11.8	15.1	3.0	34.6
	平年差	0.2	+3.0	+0.4	-6.3
里山のつぶ※ (2か所)	本年	11.7	11.5	3.8	36.6
ふくひびき※ (1か所)	本年	11.0	出穂始め	3.5	37.4
直播天のつぶ※ (1か所)	本年	10.0	0.3	6.0	40.3

注:平年値との比較は7月20日現在です。

※ 里山のつぶ、ふくひびき、直播天のつぶは作付実績が5年に満たないため平年値がなく、平年差がありません(平年値は直近5年の平均です)。

### 2 高温条件下の対策

- (1) しばらくの間、高温が続くと見込まれますので、出穂期には花水、その後、飽水(ひたひた水)管理を徹底してください。

飽水(ひたひた水状態)管理により、水田の水温・地温を下げ根の活力維持を図りましょう。

- (2) 斑点米カメムシ類の多発が見込まれる(7月19日付け発行病害虫発生予察情報注意報 第3号)ので、「乳熟期(出穂期の7~10日後)」に防除しましょう。

栽培管理については、「こおりやまの米」通信(Vol.5)も、参考にしてください。

### 3 節水をお願いします

高温・少雨の影響から安積疏水流域でも末端まで水が流れない状況が発生しております。水路から水を取り入れる際は、水路を全てせき止めることのないようご協力お願いします。また、水の掛け流しはせず、水を大切に使用するようお願いいたします。

### 4 多収品種「ふくひびき」で飼料用米を作りますか?

飼料用米は単収に応じて交付金額が増減します。

#### <ふくひびきの特徴>

多収で倒れにくい。出穂はあきたこまち並み。障害型耐冷性が「やや弱い」。多収には葉色を濃く保ち、穂重型なので、穂数・粒数の確保が重要。

#### <多収栽培のポイント>

その1 生育期間の葉色を濃く維持しましょう(SPAD値40程度を維持)。

基肥は7~8kg/10aとします。

幼穂形成期に穂肥2~3kg/10a施用しましょう。

その2 穂数確保のため、疎植せずに、坪60株~70株を目安にしましょう。

その3 田植え後は、速やかに入水し、活着と分けつを促します。

その4 幼穂形成期(7月上旬)以降は間断かんがい、低温時には深水管理。



成熟期のふくひびき

## 5 良質米生産のため種子更新を徹底しましょう

来年の米の作付け準備は種子注文から始まります。JAの種子注文の〆切りは8月末日までです。需要に応じた作付けに努めましょう。

### 熱中症の対策

日々の体調管理に一段と気をつけましょう

- ・朝食は欠かさず食べましょう
- ・睡眠をしっかりとりましょう
- ・お酒はほどほどにしましょう

農作業で心がけること

- ・気温の高い時間帯を外して作業しましょう。
- ・二人以上で作業するか、時間を決めて水分や塩分補給の声かけをするなど、定期的に異常が無いか確認しましょう

- ・20分おきにコップ1～2杯以上を目安に水分補給し、日陰でこまめな休憩を取りましょう。
- ・足がつったり、筋肉がぴくぴくする症状が見られたら熱中症の初期症状です。あらかじめ、スポーツ飲料や塩分補給タブレットを摂取し予防しましょう。
- ・帽子や吸汗速乾性素材の衣服、送風機やスポットクーラーなど熱中症予防グッズを活用しましょう。
- ・作業場所に日よけを設置したり風通しを良くするなど、高温多湿の環境を避けましょう。



### 9月1日から10月30日まで農作業安全運動重点期間です

日常に潜む危険に注意しましょう

- ①狭い道、坂道、雨(スリップしやすい)、道ばたの草(路肩がわかりにくい)など、いつもの場所でも事前に状態を確認しましょう。
- ②刈り払い作業開始前に、作業場所の傾斜(滑りやすさ)や用排水路等の構造物、穴や切り株等の場所を確認するとともに空き缶やペットボトル、ガラス瓶、木の枝、石等の異物を取り除きましょう。  
また、ヘルメット・フェイスガード・防振手袋・長靴等の安全具を着用しましょう。
- ③収穫前に、コンバインや乾燥機等の清掃・点検を実施しましょう。



平成31年1月から、農業経営者ごとの収入全体を対象とした総合的なセーフティーネットとして「収入保険」が始まります！

#### 【収入保険のポイント】

- ◆対象者は青色申告をおこなっている農業者です。
- ◆自然災害だけでなく、価格低下なども含めた農業収入の減少を補償します。
- ◆米、野菜、果樹、たばこ、しいたけ、はちみつなど、農作物ならどんな品目でも対象になります。
- ◆収入保険があれば、新しい作物の導入や、販路の拡大などに取り組みやすくなります。
- ◆収入保険は、チャレンジする農業者を支援する保険です。

ご加入を希望される方は、

福島県農業共済組合 郡山田村支所 までご連絡ください。

TEL: 024-933-3307 FAX: 024-933-0143

